

防災気象情報の改善と取組

2025年2月
奈良地方気象台

令和 7 年出水期までに予定している 主な変更内容

1. 洪水キキクル（危険度分布）の表示河川を修正
2. 指定河川洪水予報文の改善

1. 洪水キキクルの表示河川を修正

1. 洪水浸水想定区域が新たに公表された河川をキキクルに追加

- 令和3年の水防法改正により洪水浸水想定区域の指定対象河川が追加された。
- 令和5年5月に奈良県より対象河川の洪水浸水想定区域図が公表され、それに伴い洪水キキクルでも令和7年出水期から対象河川を表示する。

2. 現在表示されている河川の流路変更

- キキクル表示河川の流路を実際の流路に合うように修正

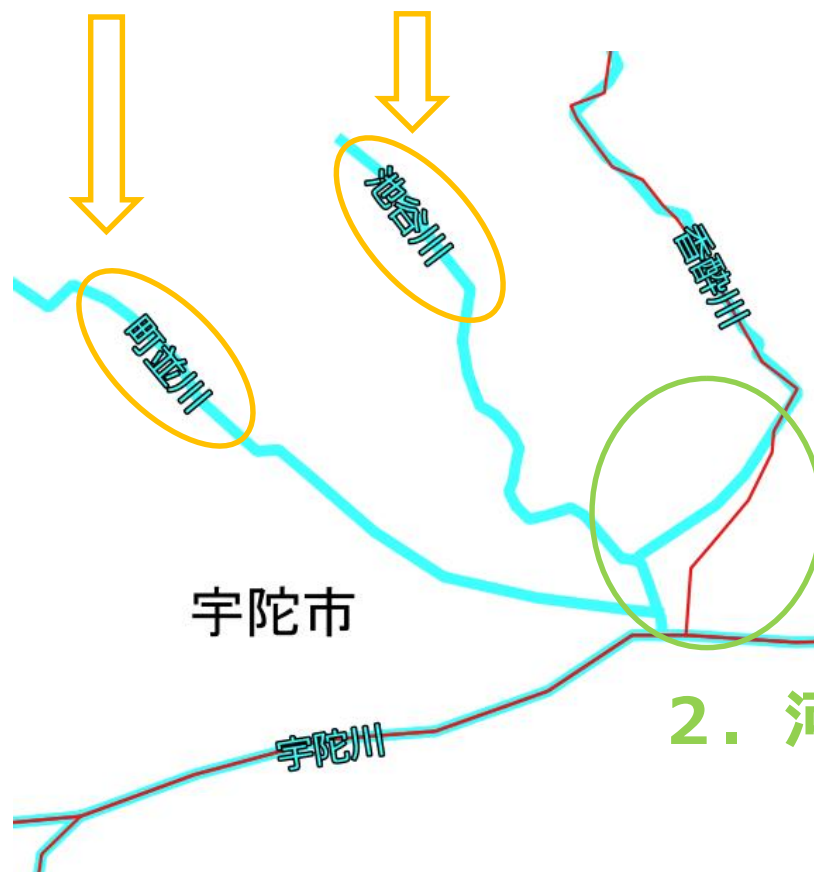
流域雨量指数の
計算に反映

- 1 浸水が想定されている河川の危険度が分かる。
- 2 より実情に即した河川流路で危険度を提供できる。

表示河川の修正例

令和7年出水期からの表示河川： ———— これまでの表示河川： ————

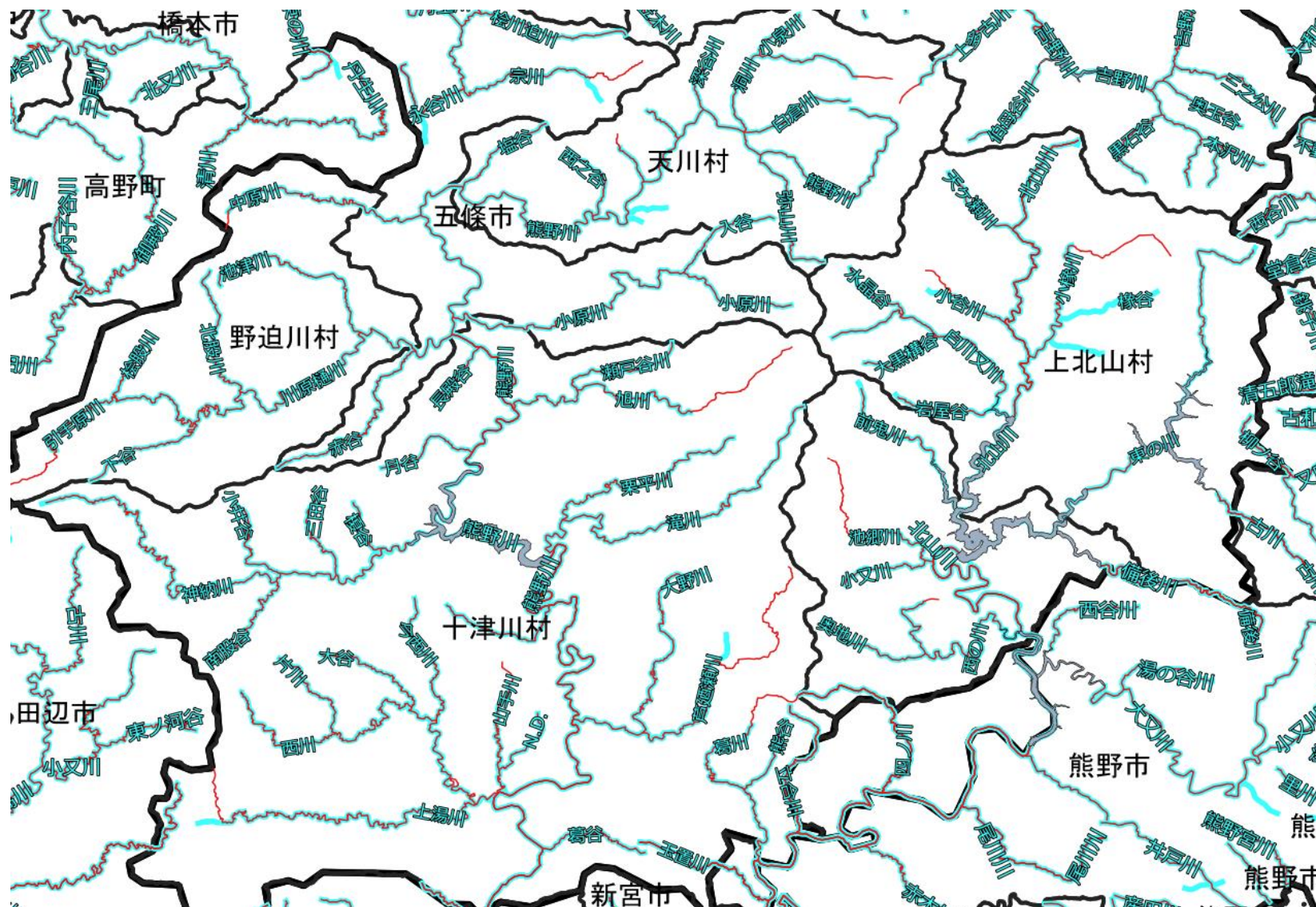
1. 新たに追加する河川



2. 河川の流路変更

熊野川上流域

令和7年出水期からの表示河川： ————— これまでの表示河川： —————



2.指定河川洪水予報文の改善

- 図表を用いた分かりやすい表現とするため、洪水予報文（PDF 形式）の様式を変更。（XML電文は変更なし）
- 新様式の運用は令和7年3月25日13時から開始。

洪水予報文の変更概要

現行PDF



正規

〇〇川氾濫注意情報

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

（見出し）

【警戒レベル2相当情報「洪水」】〇〇川では、氾濫注意水位に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込み

（主文）

【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市〇〇）では、「氾濫注意水位」に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の△△水位観測所（△△市△△）では、「氾濫注意水位」に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の□□水位観測所（□□市□□）では、「氾濫注意水位」に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

（雨量）

所により1時間に50ミリの雨が降っています。
今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇ミリ	〇〇ミリ

（水位）

〇〇川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	水位(m)	水防団 待機	氾濫 注意	避難 判断	氾濫 危険
〇〇〇 水位観測所 (〇〇市〇〇市〇〇)	00日00時00分の状況	〇〇.X	〇〇.X		
	00日01時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日02時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日03時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日04時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日05時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
△△△ 水位観測所 (〇〇市△△市△△)	00日00時00分の状況	〇〇.X	〇〇.X		
	00日01時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日02時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日03時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日04時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
	00日05時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		
□□□	00日00時00分の状況	〇〇.X	〇〇.X		
	00日01時00分の予測	〇〇.X	〇〇.X		

新PDF

正規

〇〇川氾濫危険情報 （警戒レベル4相当情報）

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

（見出し）

〇〇川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

（主文）

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市）では、
当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれ
があり、〇〇市、△△市では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、
各自安全確保を図るなど、適切な避難行動をとってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の△△水位観測所（△△市）で
は、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続く見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に十
分注意するとともに、適切な避難行動をとってください。

（警戒レベル相当情報早見表）

〇〇川氾濫危険情報（警戒レベル4相当情報）			
新着・更新	新着・更新	更新	
基準水位観測所名	〇〇	△△	
対象河川	〇〇川	〇〇川	
警戒レベル（ ）相当	4	3	
現況水位	4 (レベル4水位超過)	3 (レベル3水位超過)	
予測水位			
更新	〇〇市	4	-
更新	△△市	4	3
更新	〇〇町	-	3

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区間内の基準水位観測所の
受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が
想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。
警戒レベル相当早見表の見方について[防災用語ウェブサイト：早見表]

<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/tarm?key=hayamiho>

（雨量）

多いところでは1時間に00ミリの雨が降っています。
この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇ミリ	〇〇ミリ

（水位または流量）

基準観測所	水位（m）	00日 00:00現在	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
〇〇 (〇〇市)	警戒レベル4相当	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX
	氾濫危険水位	X.XX m						
	避難判断水位	X.XX m						
	氾濫注意水位	X.XX m						
	ゼロ地点	EL=X.XX m						

(参考資料) 標題、見出し、主文等

現行PDF

発表者	第1受報者	第2受報者	第3受報者
国土交通省 気象庁	〇〇河川事務所 〇〇地方気象台		

機関名

〇〇川^{がわ}氾濫注意情報

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報(発表)
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し)

【警戒レベル2相当情報【洪水】】〇〇川^{がわ}では、氾濫注意水位に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込み

(主文)

【警戒レベル2相当】〇〇川^{がわ}の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「氾濫注意水位」に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川^{がわ}の△△水位観測所(△△市△△)では、「氾濫注意水位」に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川^{がわ}の□□水位観測所(□□市□□)では、「氾濫注意水位」に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

新PDF

①

削除

正規

② 改善

〇〇川^{がわ}氾濫危険情報
(警戒レベル4相当情報)

〇〇川洪水予報第〇号
洪水
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

③ 改善

(見出し)

〇〇川^{がわ}では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

④ 変更なし

(主文)

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市)では、「氾濫危険水位」に到達しました。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、△△市では浸水するおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の△△水位観測所(△△市)では、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続く見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。

警戒レベル相当情報を一目で分かるように変更

(参考資料) 警戒レベル相当情報早見表

現行PDF

新PDF

記載なし

⑤

警戒レベル相当情報早見表：新規追加

(警戒レベル相当情報早見表)

〇〇川氾濫危険情報 (警戒レベル4相当情報)			
新着・更新	新着・更新	更新	
	基準水位観測所名	〇〇	△△
	対象河川	〇〇川	〇〇川
	警戒レベル()相当	4	3
	現況水位	4 (レベル4水位超過)	3 (レベル3水位超過)
	予測水位		
更新	〇〇市	4	-
更新	△△市	4	3
	〇〇町	-	3

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区間内の基準水位観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。
警戒レベル相当早見表の見方について[防災用語ウェブサイト：早見表]

<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=hayamiho>

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2相当
	警戒レベル2未満

市町村、河川ごとの警戒レベル相当を見やすいように変更

(参考資料) 氾濫による浸水が想定される地区 (Lv5のみ) /雨量

※氾濫発生情報（警戒レベル5相当情報）のみ

現行PDF

氾濫による浸水が想定される地区※	
△△県△△市	○区、○○区、○○○区、□区
△△県□□市	○×地区、○○×地区、○○○×地区、□×地区、□□×地区

※ 氾濫による浸水が想定される地区については、一定の条件下に基づく計算結果での推定です。
気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でも氾濫による浸水がおこる可能性があります。

新PDF

⑥ 改善

(氾濫による浸水が想定される地区)

氾濫箇所	氾濫による浸水が想定される地区※
〇〇市〇〇地区 (右岸)	■〇〇県 ●〇〇市 (〇〇地区、○○〇地区、□□地区、□□□地区) ●△△市 (△△地区、△△△地区、◇◇地区、◇◇◇地区)

※氾濫による浸水が想定される地区については、一定の条件下に基づく計算結果での推定です。気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でも氾濫による浸水がおこる可能性があります。

危険箇所を分かりやすいように変更

現行PDF

(雨量)

所により1時間に50ミリの雨が降っています。

今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの 流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの 流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

新PDF

⑦ 変更なし

(雨量)

所により1時間に50ミリの雨が降っています。

今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの 流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの 流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

(参考資料) 水位または流量

現行PDF

(水位)

〇〇川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1				レベル2				レベル3				レベル4			
	水位(m)		水防団 待機				氾濫 注意				避難 判断				氾濫 危険			
〇〇〇 水位観測所 (〇〇黒〇〇市〇 〇)	00日00時00分の状況	XXX.X→																
	00日01時00分の予測	XXX.X																
	00日02時00分の予測	XXX.X																
	00日03時00分の予測	XXX.X																
	00日04時00分の予測	XXX.X																
	00日05時00分の予測	XXX.X																
	00日06時00分の予測	XXX.X																
△△△ 水位観測所 (〇〇黒△△市△ △)	00日00時00分の状況	XXX.X→																
	00日01時00分の予測	XXX.X																
	00日02時00分の予測	XXX.X																
	00日03時00分の予測	XXX.X																
	00日04時00分の予測	XXX.X																
	00日05時00分の予測	XXX.X																
	00日06時00分の予測	XXX.X																
□□□ 水位観測所 (〇〇黒□□市□ □)	00日00時00分の状況	XXX.X→																
	00日01時00分の予測	XXX.X																
	00日02時00分の予測	XXX.X																
	00日03時00分の予測	XXX.X																
	00日04時00分の予測	XXX.X																
	00日05時00分の予測	XXX.X																
	00日06時00分の予測	XXX.X																

予測時間が長くなるほど不確実性が高まります。予測水位の値は今後変わることもあるため、今後も最新の発表をご確認ください。
水位のグラフは各水位間を按分したものです。
水位危険度レベル4は、「氾濫危険水位」と「氾濫する可能性のある水位」を按分しています。堤防の決壊等により「氾濫する可能性のある水位」に到達する前に氾濫することもあるため、この水位は避難行動開始の目安ではありません。

新PDF

⑧ 改善

(水位または流量)

基準観測所	水位 (m)	00日 00:00現在	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX
警戒レベル4相当								
〇〇 (〇〇市)	氾濫危険水位 X.XX m							
	避難判断水位 X.XX m							
	氾濫注意水位 X.XX m							
	ゼロ点高 EL=X.XX m							

基準観測所	水位 (m)	00日 00:00現在	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX
警戒レベル3相当								
△△ (△△市)	氾濫危険水位 X.XX m							
	避難判断水位 X.XX m							
	氾濫注意水位 X.XX m							
	ゼロ点高 EL=X.XX m							

・ゼロ点高に関する解説 https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb_apend/html/reference.html

水位変化・水位上昇を分かりやすいように変更

 気象庁
 奈良地方気象台
 Nara Local Meteorological Office, JMA

(參考資料)

[illegible]

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の
避難判断水位・氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位です。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の直前または発生以降	既に氾濫しており（または「氾濫しているおそれがあり」、「まもなく氾濫するおそれがあり」）、命の危険がある状況に突如と発生が保証可能な段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態であり、危険な場所から全員避難が必要な段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	氾濫の発生に備え、危険な場所から高齢者等の避難が必要な段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防開始水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからご覧いただけます。

	パソコンから	携帯電話から
川の防災情報 水害リスクライン 気象庁ホームページ	https://www.river.go.jp https://fri.river.go.jp https://www.jma.go.jp/	

問い合わせ先
水位関係：国土交通省 ○○河川事務所 ○○○課 電話：000-000-0000（内線）○○○
気象関係：気象庁 ○○地方気象台 電話：000-000-0000（内線）○○○

(参考)

(受け持ち区間)

基準観測所	〇〇	△△	
	水位観測所	水位観測所	
	〇〇市	△△市	
受け持ち区間	〇〇川	〇〇川	
	左岸 〇〇市〇〇地区から〇〇地区まで	左岸 △△市△△地区から△△地区まで	
	右岸 〇〇市〇〇地区から〇〇地区まで	左岸 △△市△△地区から△△地区まで	

口雨の情報を知りたい方はこちら

今後の雨（解析雨量、降水短時間予報）	https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
--------------------	---

☐ 洪水予報文、川の水位を確認したい方はこちら	
川の防災情報 洪水予報画面	https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

[illegible]

[口氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら](#)



今後の雨(解析雨量、
降水短時間予報)



川の防災情報
洪水予報画面



水害リスクライン



浸水ナヒ

(注意事項)

問い合わせ先

問い合わせ先
水位関係：国土交通省 ○○河川事務所 ○○課 電話：XXX-XXX-XXXX
気象関係：気象庁 ○○地方気象台 電話：XXX-XXX-XXXX

ダムの運用および情報伝達の改善について

令和7(2025)年 2月

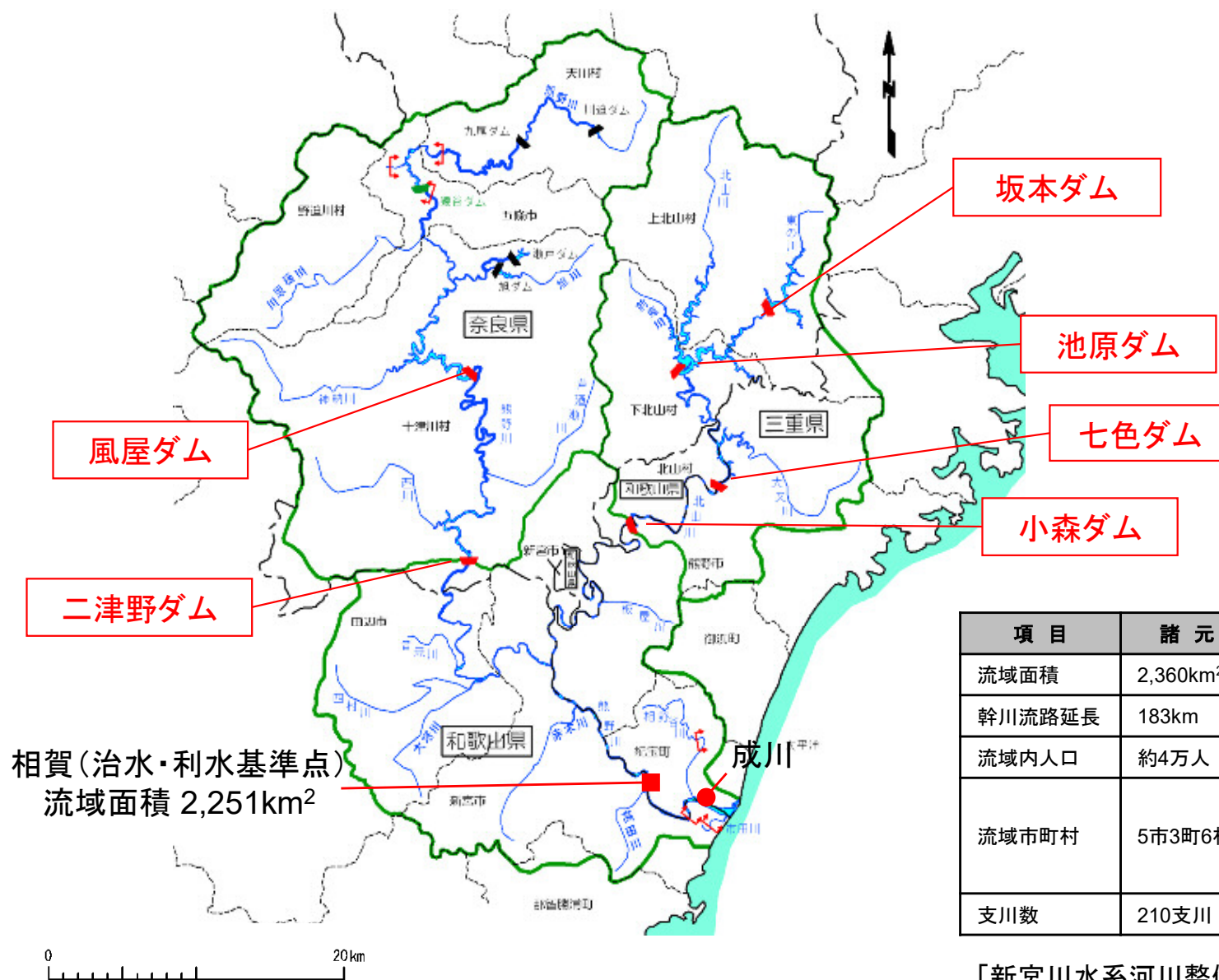
電源開発株式会社 西日本支店

1. 新宮川水系の概要
2. 経緯
3. ダム運用の概要
4. ダム運用の検証
5. 令和6(2024)年度のダム運用(実績)
6. 情報伝達の改善(実施済)

【参考】

1. 令和6(2024)年度出水期のダム操作
2. 過去のダム運用(実績)

1. 新宮川水系の概要



■流域面積

二津野ダム上流域	1,016 (801) km ²
小森ダム上流域	641 (564) km ²
ダム下流域	703 km ²
合計	2,360 (2,068) km ²

※()内は猿谷ダム、坂本ダムの流域を含まない流域面積(分水を考慮)

凡例	
—	熊野川流域
—	ダム流域
■	基準地点
●	主要地点
▬	電源開発(株) 管理ダム
▬	国土交通省 管理ダム
▬	関西電力(株) 管理ダム
—	県界
—	市町村界
↑↑	直轄管理区域

項目	諸元	備考
流域面積	2,360km ²	全国26位 / 109水系
幹川流路延長	183km	全国14位 / 109水系
流域内人口	約4万人	
流域市町村	5市3町6村	奈良県 : 五條市、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村 和歌山県 : 田辺市、新宮市、那智勝浦町、北山村 三重県 : 尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町
支川数	210支川	

「新宮川水系河川整備基本方針(令和3(2021)年)」に加筆

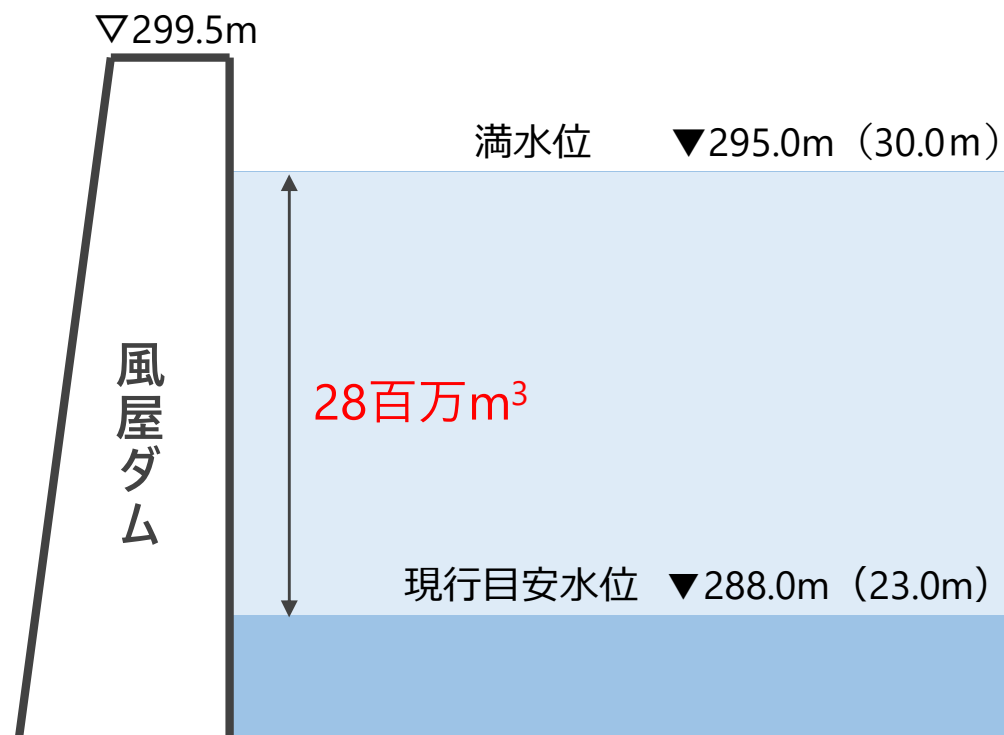
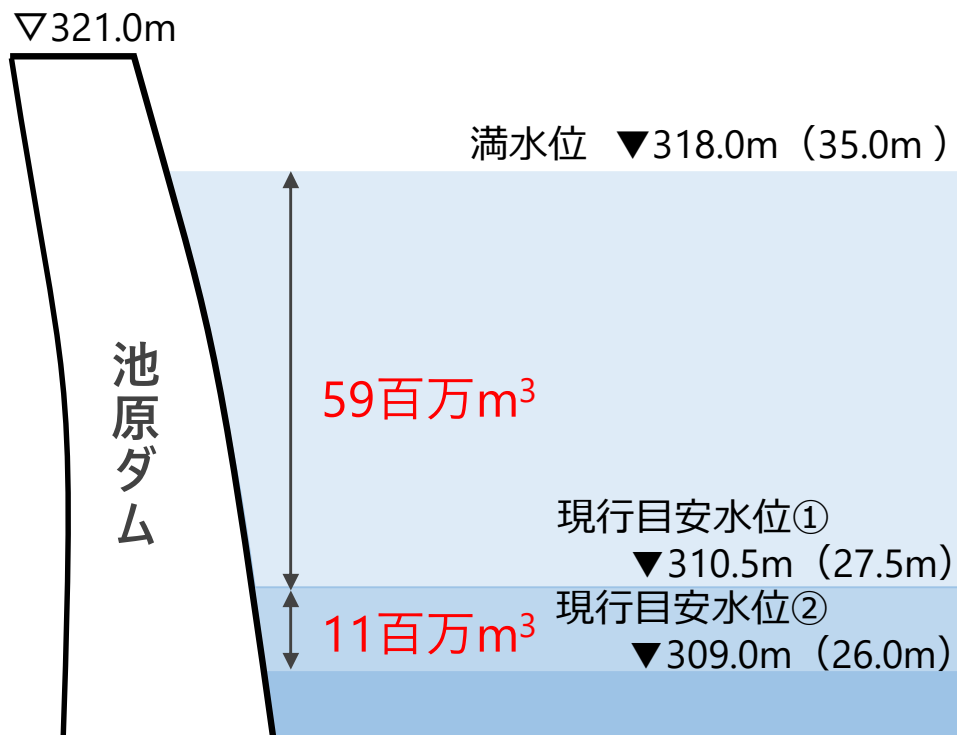
2. 経緯

- ✓ 当社は、熊野川の利水者として、池原・風屋ダムにおいて自主的に目安水位を設け空き容量を確保することにより、洪水被害を低減するための措置を平成9(1997)年より講じてきた。
- ✓ また、平成23(2011)年台風12号により熊野川流域において甚大な被害が発生したことを重く受けとめ、熊野川の河川整備の現状を鑑み、社会的責任の見地から、平成9(1997)年に設定した目安水位の低下を図り、更なる洪水の低減に努めることとし、ダム運用の改善策である暫定運用を平成24(2012)年6月15日に開始した。
- ✓ 令和2(2020)年5月に河川管理者・ダム管理者・関係利水者にて治水協定を締結した。現行の運用は、現在の降雨・流入予測技術、ダムの構造上の特性および下流利水者等への影響等を総合的に勘案して、当社が自主的に対応できる最大の設定をしているため、治水協定に基づく事前放流等の現行運用は、これまでの暫定運用の方法と同様。
- ✓ 当社が設置した「ダム操作に関する技術検討会」において、学識者および河川管理者のご意見・ご指導を仰ぎながら、検証・改善を実施している。

3. ダム運用の概要

● ダムの空き容量確保

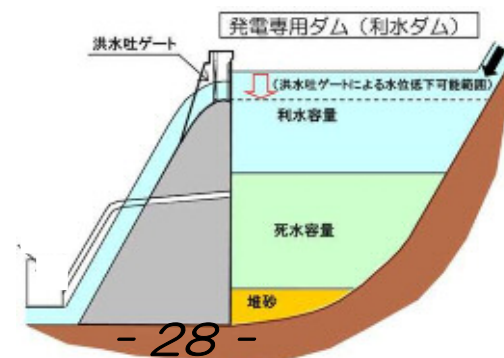
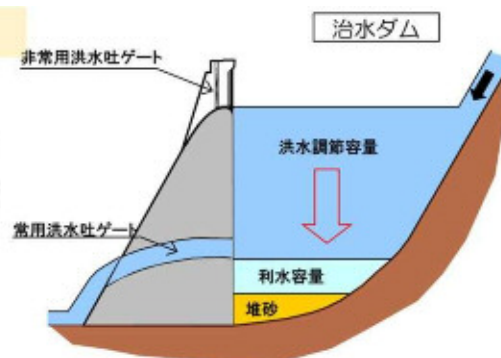
大規模出水に備えて池原・風屋ダムの貯水位を「現行目安水位」※まで事前に低下させ、
空き容量(池原ダム70百万 m^3 、風屋ダム28百万 m^3 、計98百万 m^3)の確保に努める。



※現行目安水位：平成24(2012)年に設定し、ダム操作規程で謳っている「暫定目安水位」

【参考:ダムの構造上の特性】

発電専用ダム(利水ダム)は、治水ダムのように低い水位で放流する機能を有していないため、上部に設置された洪水吐ゲートのみで洪水に対応する。



3. ダム運用の概要

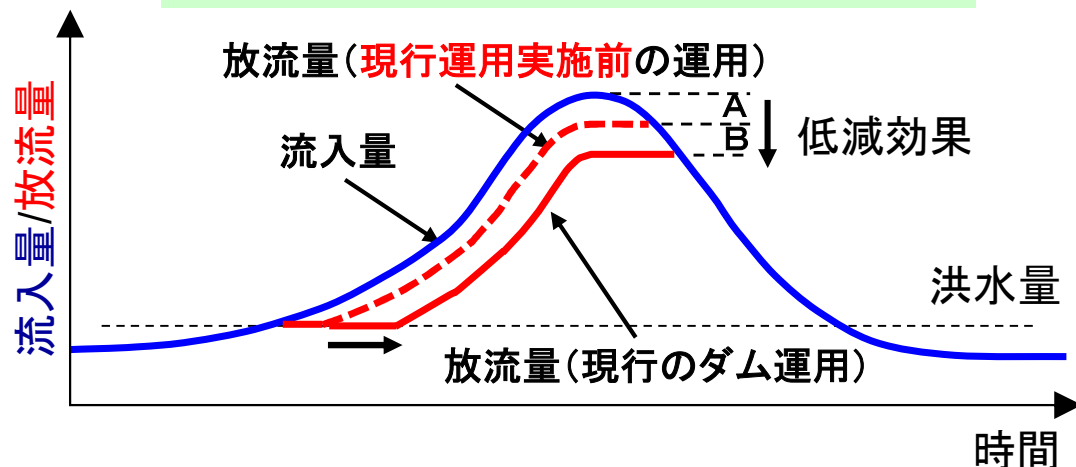
●ダム水位の低下

- ✓ 台風情報(中心位置、予測進路)と長期降雨予測(84時間)に基づく「水位低下開始基準」(P.6参照)により判断し、概ね出水の2～3日前に開始する。
- ✓ したがって、降雨前の晴天時から放流を開始する場合もあり、下流の観光事業・漁業・親水活動等に影響を及ぼす可能性がある。
- ✓ なお、池原ダムのみ降雨予測値に応じて2段階で低下する。

●ダム放流量の低減

- ✓ 洪水時にはダム放流量を一定時間遅らせること、最大流入量時は流入量より少ないダム放流量とすることにより低減を図り、確保した空き容量を有効に活用して貯留する。

放流量低減効果のイメージ(池原ダム)



期待されるダムからの最大放流量の低減効果

	池原ダム	風屋ダム
最大流入量に対する低減効果(A+B)	約5～50% 〔約20%〕	約5～30% 〔約5%〕
現行運用実施前の運用に対する低減効果(B)	約0～25% 〔約10%〕	約0～15% 〔0%〕

※ダムへの流入規模等により低減効果は異なる。
※〔 〕内の数字は平成23(2011)年台風12号の低減効果

3. ダム運用の概要

● 水位低下開始基準

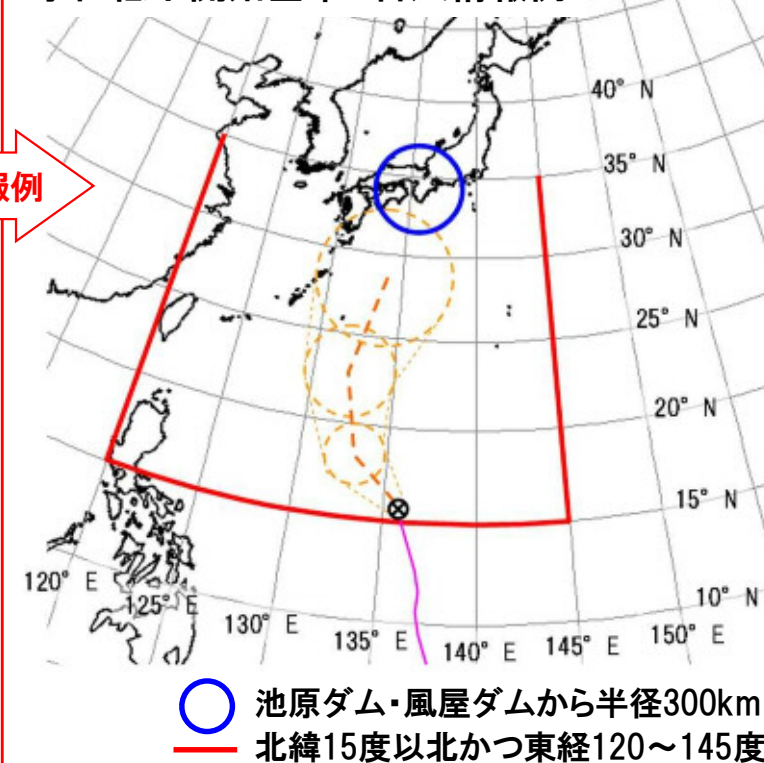
下表の台風情報および降雨予測の条件に共に該当したときをダム水位低下開始基準※¹とする。

ダム水位低下開始条件

気象庁 発表の情報		基準	水位低下開始基準① (2ダム共通)	水位低下開始基準② (池原ダムのみ適用)
台風情報 ※ ²	中心位置		北緯15度以北かつ 東経120～145度	同左
	予測進路		各ダムから300km以内 に接近	
降雨予測	長期降雨 予測値 (84時間)		200mm以上	500mm以上

台風情報例

水位低下開始基準 台風情報例



【参考：降雨予測の種類と適用基準】

予測 手法	高解像度 降水ナウ キャスト	降水ナウ キャスト	降水 短時間 予報	LFM 局地予報 モデル	MSM メソスケール モデル	GSM 全球モデル		(参考) 台風 進路 予報
空間 解像度	250m	1km	5km	2km	5km	20km		
更新 間隔	5分	5分	30分	1時間	3時間	6時間	24時間	3時間
リード タイム	0.5時間	1時間	6時間	9時間	39時間	84時間	264時間	72～ 120 時間

ハッチ部：水位低下開始基準に適用

※¹ 過去の大規模出水に至った
出水事例を整理し決定

※² 台風情報は3時間毎、降雨予
測は6時間毎に気象庁より配
信される最新情報を適用

台風情報 凡例

- ⊗ 台風中心位置
- - - 台風予測進路
- 台風予報円
- 台風経路

4. ダム運用の検証

- ✓ 当社は、これまでのダム運用の実績からその効果・課題等を整理し、学識者および河川管理者による「ダム操作に関する技術検討会」にてご意見・ご指導を仰ぎながら、毎年ダム運用を検証している。
- ✓ 令和6(2024)年度の運用実績を検証した結果、以下の事由により、令和7(2025)年度出水期においても現行の運用ルールを継続する。
 - ・ 水位低下開始基準に該当せず洪水に到達した実績(見逃し)はなかったこと。
 - ・ ダム運用が有効に機能し、放流量をできる限り低減し流水を貯留できたこと。
 - ・ 基準等、ダム運用ルール見直しの必要がないことを確認できたこと。
- ✓ 引き続き、令和7(2025)年度の運用実績を整理し、次年度以降のダム運用のあり方を検証し、改善を図っていく。

※ 令和6(2024)年度運用実績の検証結果は、令和7(2025)年5月頃開催予定の「ダム操作に関する技術検討会」にて報告予定。
関係者への事前説明において疑義等の意見は出されていない。

4. ダム運用の検証

検証内容

✓ 令和6(2024)年度の運用実績を踏まえ、昨年度までと同様の検証を予定している。

① 台風情報の適用基準の妥当性の検証

台風の実績経路と中心位置基準(北緯15度以北かつ東経120～145度)を整理

台風のダムへの最接近距離(閾値300km)と雨量の関係を整理

② 降雨予測の適用基準の妥当性の検証

長期降雨予測値の予測実績とダム流入量の実績を比較し、降雨予測基準値(200mmおよび500mm)との関係を整理

③ 実運用への適用性の検証

台風情報と降雨予測の基準に基づき、ダム水位低下前の池原ダム水位を29.0mと仮定した場合に、現行目安水位(①27.5m,②26.0m)までの水位低下(空き容量確保)が可能であることをシミュレーションで確認



台風情報と降雨予測の適用基準の妥当性および実運用への適用性を検証し、
現行基準の有効性を確認する。

5. 令和6(2024)年度のダム運用(実績)

- ✓ 令和6(2024)年は26台風が発生。
- ✓ このうち、台風10号が水位低下開始基準①に該当し、水位低下開始基準②に該当する台風はなかった。

令和6(2024)年の台風発生実績と水位低下判断実績

台風	台風発生期間	台風情報		降雨予測		水位低下開始基準① 到達・解除日時 ^{※1}		水位低下開始基準② 到達・解除日時 ^{※1}	
		中心位置 北緯15度以北かつ 東経120～145度	予測進路 各ダムから300km以 内に接近	熊野川全流域(6点)中の予測雨量値 の各時間最大値を84時間積算した値		到達	解除	到達	解除
				200mm以上	500mm以上				
1	5月25日～5月30日	○	○	-	-	-	-	-	-
2	5月31日～5月31日	-	-	-	-	-	-	-	-
3	7月20日～7月26日	○	-	-	-	-	-	-	-
4	7月21日～7月23日	-	-	-	-	-	-	-	-
5	8月8日～8月13日	○	-	-	-	-	-	-	-
6	8月11日～8月13日	-	-	-	-	-	-	-	-
7	8月13日～8月19日	○	○	-	-	-	-	-	-
8	8月13日～8月15日	-	-	-	-	-	-	-	-
9	8月19日～8月20日	○	-	-	-	-	-	-	-
10	8月22日～9月1日	○	○	○	-	8/24 19:08	8/31 19:13	-	-
11	9月1日～9月8日	○	-	-	-	-	-	-	-
12	9月5日～9月7日	-	-	-	-	-	-	-	-
13	9月10日～9月17日	○	-	-	-	-	-	-	-
14	9月15日～9月21日	○	○	-	-	-	-	-	-
15	9月19日～9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-
16	9月25日～9月26日	○	○	-	-	-	-	-	-
17	9月27日～10月2日	○	○	-	-	-	-	-	-
18	9月28日～10月4日	○	-	-	-	-	-	-	-
19	10月9日～10月11日	-	-	-	-	-	-	-	-
20	10月22日～10月28日	○	-	-	-	-	-	-	-
21	10月25日～11月1日	○	○	-	-	-	-	-	-
22	11月4日～11月12日	○	-	-	-	-	-	-	-
23	11月9日～11月15日	○	-	-	-	-	-	-	-
24	11月9日～11月20日	○	-	-	-	-	-	-	-
25	11月12日～11月16日	○	-	-	-	-	-	-	-
26	12月23日～12月25日	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 水位低下開始基準到達・解除の情報配信日時。洪水被害低減対策の開始・終了日時とは異なる。

5. 令和6(2024)年度のダム運用(実績)

- 令和6(2024)年に発生した26台風のうち、台風10号が水位低下開始基準①に該当し、水位低下開始基準②に該当した台風は無かった。
- 台風10号時の最大流入量は洪水量(1,500m³/s)を超過せず、ダム水位も低かったことから概ね全量を貯留し、下表のとおり放流量を低減した。

台風10号時の放流量低減効果

	池原ダム	風屋ダム
最大流入量(m ³ /s)	571	259
最大流入時の全放流量(m ³ /s)	0	29
低減量(m ³ /s) (低減率)	571 (▲100%)	230 (▲89%)

6. 情報伝達の改善(実施済)

- ✓ 当社は、「ダム操作に関する技術検討会」の中間報告平成24(2012)年5月以降、流域関係者に対し当社ダムに係る情報を的確に伝えるため、河川管理者および関係自治体と協議・調整を図り、継続して情報伝達の改善に取り組んでいる。
- ✓ 以下の項目については、既に対応が完了した。
 - ・ 新宮川水系各ダム情報(フリーダイヤル)の回線増強
 - ・ 情報伝達ルート多重化(無線通信のルール化、衛星電話の設置)
 - ・ インターネットによるダム情報の提供(国土交通省が管理・運営するインターネットサイト「川の防災情報」への当社ダムの情報を掲載)
 - ・ サイレン吹鳴、放送アナウンスの可聴範囲調査
 - ・ 放流に関するパンフレットの配布
 - ・ ダム放流説明看板の更新
 - ・ ダム放流の通知・通報の改善

【参考】2. 過去のダム運用(実績)

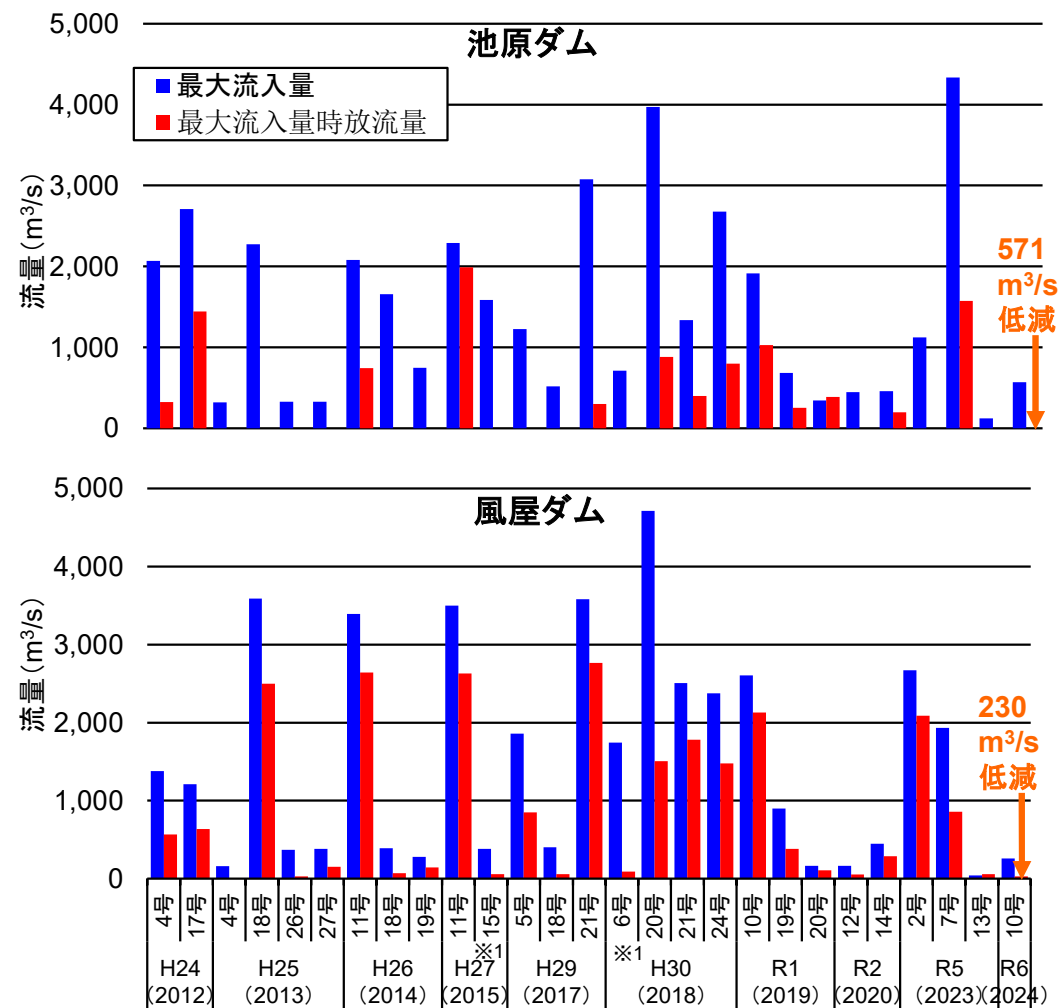
●過去の運用実績

- ✓ 台風発生数327のうち 25台風が水位低下開始基準に該当

※ 暫定運用を開始した平成24(2012)年6月15日から令和6(2024)年12月31日までの集計

●運用効果

- ✓ 運用実施時は、バラツキはあるものの池原ダムと風屋ダムで放流量の低減効果を確認。
- ✓ 令和6(2024)年台風10号においては、最大流入時の放流量を池原ダムは571m³/s、風屋ダムは230m³/s低減した。



池原・風屋ダムにおける運用実績

※1 基準に未達で、洪水量に到達した台風

※2 令和3(2021)年、令和4(2022)年は、
水位低下開始基準に到達した台風は発生していない